



やまがた



リーダーとしての自覚

上條 晃さん（中大池）

ギター製造で有名なフジゲン株式会社の山形工場で働く晃さん。山形工場ではギター作りで培われた技術を生かし、主にキッチンパネルの製造を行っており、幾層にも施した塗装を鏡面まで磨き上げた製品をチェックする眼差しは真剣そのもの。

入社8年目を迎え、現場の作業だけでなく生産工程の管理を任されるなど、工場のリーダーとなっている。

「地元にある工場なので、地域にも貢献していきたい」と話す姿は頼もしく、「新そばの時期になりますが、当社ではそば打ち道具も作っているんですよ」と自社製品のPRも忘れない。

（10月6日 フジゲン山形工場にて）

働く姿
シリーズ

告知板

◆第66回山形村総合文化祭◆

みなさまのご来場をお待ちしています。

日時 11月5日(土)
午前10時30分～午後4時30分
11月6日(日)
午前9時～午後3時
会場 トレーニングセンター
体育館……………作品展示等
大ホール……………芸能発表

その他 詳細は各戸へ配布された緑色のチラシをご覧ください。
両日とも社会部食堂やります。てんぷらそば・うどんなどあります。

◆秋の夜長に… ナイト・ライフルリー◆

おはなしのたからばこ
～夜空にひろがる笑い声～

日時 11月17日(木)
午後7時30分～8時
場所 山形村図書館
その他 参加申込み不要。
夜遅い時間になりますので、小学生の方は保護者の方と一緒にお願いします。

剣道大会

10月1日(土)、トレーニングセンター体育館において、第24回長野県実業団・官公庁親善剣道大会が行われました。
長野県内で働く剣道愛好家を対象としたこの大会は、警察官や教職員は選手ではなく審判員として参加しました。例年は北信地区で行われていた大会でしたが、今年は中信地区の企業が幹事となりトレーニングセンターが会場に選ばれました。体育館内に4面の試合場を設けて団体戦・個人戦の試合が行われ、気合の入った声、竹刀の打ち込む音が鳴り響いていました。



が鳴り響いていました。

ソフトバレー戦開幕

10月14日(金)、トレーニングセンター体育館において、ソフトバレーの開会式が行われました。今シーズンは、女子



の部、男女混合6人制・4人制の構成で30チーム全240試合が行われます。
10月16日(日)を皮切りに3月まで熱戦が繰り広げられます。

第39回ナイターソフトボールリーグ戦 結果

Aリーグ		Bリーグ	
優勝	オジンズ	優勝	中原町
準優勝	純	準優勝	ファザーズ
3位	おちこぼれ	3位	西下
//	ER横山	//	原村上
5位	オールグリーン	//	淀の内
//	Jパスタ	6位	CUB
7位	竹田	//	ドカベン本郷
8位	SBC2005		

第47回早起き野球リーグ戦 結果

優勝	グッドモーニング
準優勝	四ツ谷アップルズ
3位	YBC
4位	オール殿
//	北斗ナイン
//	上大池グルッペ (同率順位決定戦による)

山すそ

9日に予定されていた村民運動会が昨年を引き続き中止となった。5日に台風18号が通過し数日は天候の回復がみられたものの、今度は寒冷前線の影響を受け前日から翌朝まで雨が降り続きトレーニングラウンドに大きな水たまりができてしまった▼台風18号は北陸沖で温帯低気圧となっても最大瞬間風速約27メートルという強風を村内にもたらした。私は半年かけて育てている菊の鉢を軒下に退避させ被害を食い止めたが、その時吹き荒れていた風に恐怖を感じた▼その強風で村内の農作物は大きな被害にみまわれ、リンゴは収穫前の品種が多く大損害となつた。長ネギは風に倒されただけで出荷できなくなるものが大半と知り驚いた▼2年連続で村民運動会ができなかったというのは今まで記憶にない。村民あげての大きなイベントだけに引き継ぎがうまくできるのかなど課題を背負ってしまった感がある。それ以上に「中止で良かった」という気運が村民のなかで蔓延しないことを切に願う。



建部神社



小坂諏訪神社



秋祭り

建部神社 (9/17 ~9/18)

小坂諏訪神社 (9/17 ~9/18)

大池諏訪神社 (10/1 ~10/2)

今年の収穫に感謝し、
来年の豊作を願います。



大池諏訪神社



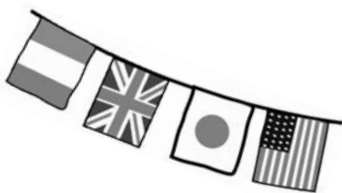
第13回 信州・松本そば祭り

10月8日(土)9日(日)10日(月)

松本城公園で開催された全国そば祭りに、今年も「信州山形村やまっちそば」が出展しました。信州とそばの食べ歩きと題し、たくさんの方々が味わっていただきました。山形村特産の長芋を麺状に切りにしてそばにトッピングする「やまっちそば」が大好評となりました。

運動会

長りました～



山形
小学校
9/24





運 重

～みんな頑張



山形
保育園
9/30



やまのこ
保育園
10/8



暮らしの風景

「老後は信州の古民家で暮らしたいわ」と、もうすぐ定年という頃のある日、

家内のこの一言で今の暮らしが始まりました。会社の仕事にかこつけて家事や子育ては全くせず、随分と迷惑をかけた罪滅ぼしに...とはウソで、カッコ悪いのですが私ひとりですら暮らしていく自信がないので、家内に付いていく事になりました。

休日になると県内あちらこちらを探し歩き、ようやく山形村で今の家と出会いました。この家は「古民家再生」と言って、古民家を一度バラバラに解体して使える柱や梁などの部材を使って建て直したものです。何でも昔は『大黒屋』さんという呉服屋さんだったそうです。

夫婦揃って愛知県三河に生まれ育って六十余年、親戚・知人も全くいない山形村への移住、これこそ『縁』というものです。村での生活も早や四年が経ちました。村や地域のことを早

く知りたくて評議員を務め、ご厚意で史談会にも迎え入れていただきました。お陰様で知り合いも大分増え、いろいろと教えていただき随分と助かっています。

普段の暮らしは、名付けて『生活作業』。これは生活し



生活作業をたのしむ

寺西 正樹 (小坂)

ていく上で必要な作業を『自分でやる』という事です。村の方には当たり前の事でしようが、私にとつては一大事でした。勤めていたからとは言え恥ずかしながら何もやった事がなかったからです。最初の生活作業は、薪小屋

づくりでした。薪ストーブを使いたかったので必死で作りました。苦勞しましたが出来た時は嬉しかったです。

これで『自分でやる』自覚ができました。家庭菜園、雨水タンクの設置、屋根や柱やガレージのペンキ塗り、本を片手に庭木の剪定、ネットとにらめっこしながら漆喰壁の簡易修理などなど。『どうしようか?』と考えながら自分でやる楽しさを感じています。

今、関心があるのが薪作りを通じての地域貢献です。山形村も高齢化が進んで、あちこちに不整地が増えていきます。素晴らしい景観が保てなくなっています。山際を見ると手が入っていないため、薪になるような木が自然に生えている所が沢山あります。微力ではありますが、仲間と社協のボランティア登録をさせることで持ち主さんに喜んでいただく活動を始めました。これからも自分なりに山形村での暮らしを楽しんでいきたいと思えます。

秋の全国交通安全運動出陣式

9月21日(水)、役場玄関前で安協山形支部による交通安全運動の出陣式が行われました。その後、山形村役場東の交差点で通行するドライバーにティッシュを配りながら、安全運転を促しました。

山形村敬老会

9月21日(水)、トレーニングセンターふるさと大ホールで村の敬老会が開催されました。保育園児たちから歌の発表や、社協と保健福祉課職員による健康体操で簡単なストレッチを参加された方々と楽しみました。

また、お昼時にはお弁当に舌鼓を打ちながら余興を観覧したり、旧友との思い出話に花を咲かせました。



風

おめでた(子・親) (敬称略)

布目 彩葉・久夫 上大池 友美

平林 優翔・崇 奈緒美 下大池

丸山朔太郎 悠希 中大池 麻奈美

安部龍ノ介 慎太郎 中大池 彩

一條 光・健一 下竹田 智里

赤羽 未來・直樹 小坂 舞

館報8月号未掲載につき、本号にて掲載いたします。ご迷惑をお掛けしました。

おこやみ

神通川みよ子・95歳・上竹田 古川多か子・89歳・上竹田 中村 勝成・78歳・上大池 武居 正子・72歳・上竹田 小野 善吉・89歳・小坂

鉢盛中学校 白峰祭
Orchestra ~ 最高の舞台 ~

9月29日(木)、30日(金)、鉢盛中学校で白峰祭が行われました。今年は、節目となる第50回を迎え、大いに盛り上がりました。

合唱コンクールでは日頃の練習の成果が十分に発揮され、生徒の歌声が体育館中にこだましました。見学に訪れた山形小学校6年生の胸の中にもグッと響き渡ったことでしょう。



「じょうずだなあ」

白熱した対抗リレーでは、選手、応援団が一丸となって精一杯頑張りました。



「気合いだ・気合いだ・気合いだ」

1・2年生 遠足

10月7日(金)、1年生が西原公園に行きました。落ち葉を拾ったりどんぐりを集めたりして楽しみました。



「じゃんけんぽん。あいこでしょ。」

10月14日(金)、2年生がスカイパークへ行きました。間近に見る飛行機の迫力と美しさに感動しました。



「飛行機と競争だ！」

4年生 社会見学

10月11日(火)、4年生が善光寺や県庁などへ社会見学に行きました。県庁では阿部知事からもお話を聞きました。



「こういうお仕事をしてるんだ」

みんなの人権 68

リオ・パラリンピックの感動

— 長野パラリンピックと甲子園始球式の思い出 —



◇今年(2016年)9月、オリンピックに引き続いて開催されたリオデジャネイロ・パラリンピック。

障害者スポーツの最高峰の大会で、身体機能の限界に挑む世界のアスリートたちの姿は、私たちに『前向きに生きることの勇氣と希望』そして『人間の可能性の広がり』を教えてくれました。◇このパラリンピックのルーツは、昭和23年(1948年)、ロンドンオリンピックの年に、イギリス・ストーク・マンデビル病院で、戦争で負傷した車椅子の兵士たちのリハビリテーションとして始められた競技会だったといわれています。その後、国際大会として参加国も増加して、ローマオリンピックが開かれた1960年のストーク・マンデビル大会が、第1回パラリンピックとされました。そして、第2回大会は、1964年(昭和39年)の夏季オリンピック会場「東京」で開催されたのでした。◇この東京大会の推進力となった人物こそ、『日本のパラリンピックの父』中村裕医師でした。彼は、『失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ』という、先ほどのストーク・マンデビル病院の障害者スポーツの理念を日本に根付かせた先達でもあります。◇ところで、パラリンピックと言えば、あの長野冬季パラリンピック(1998年)の熱狂を思い起こします。なかでも、日本人最年少選手として参加し、スキー回転の片下肢障がいクラスで、みごと上位入賞を果たした丸山直也選手(当時白馬高校生)の姿を忘れることができません。◇その彼は、平成11年(1999年)8月、甲子園球場での第81回全国高校野球選手権大会開会式の始球式に招かれました。そして、左足の義足が見える半スポン姿でダイヤモンドに姿を現し、一球を投じたのでした。その爽やかな笑顔に、スタンドからは、大きな拍手が沸き、なかなか鳴り止みませんでした。「なぜ、半スポンで?」との問いに、彼は「自分が始球式をするなら、義足で出なきゃいけない。恥ずかしいという気持ちもありませんが、半スポンと義足を見て何かを感じてもらいたいというのが意味があると思います。」と答えています。(長野県高校用権教育資料Unit 10 English: Nagano, 2000年)◇あれから17年。障がい者を巡る悲惨な事故や犯罪は後を絶たず、『共に生きる』ユニバーサルなコミュニケーションづくりは、道半ば。ですが、リオ・パラリンピックの感動の「コマ」コマが、その可能性と希望の一筋を照らしてくれているように思います。(H28.10. M・H記)



ワインセミナーにて

「お酒と共に新しい 価値の創造」にかける

清沢 哲也さん (下竹田)



今この国において、遊休・荒廃農地の活性化、農産物の高付加価値化、農業就業者高齢化といった課題があります。私は、これら課題を打開すべく、海外での経験を活かし、原料から生産を行う『農業としてのワイン・ビール造りができる環境』を整える仕事をしています。

具体的には、ぶどうの苗木づくりと販売、土壌づくり、醸造所設計、経営戦略立案、教育支援、イベント企画、運営等にかかわる総合的支援を行い、「ブームでない、文化としての定着」を目指しています。

これまで県内では、軽井沢のよなよなエールといったクラフトビールの開発や、東御市の玉村豊男氏のヴィラデストワインナリー事業設計などを手がけました。

現在は、三菱商事復興支援財団とともに東北被災地区の活性化、また北海道・長野でのワイン産地形成プロジェクトなどに携わらせていただいております。

地域には固有の自然、文化、人々、資源が存在しています。地域の持つこれらの独自性は、ワインナリー・ブルワリーなどといった場が現れることにより、様々な文化（料理・音楽・美術・お祭りなど）と融合し、地域の新しい価値観が創出されると思っています。

これらの価値観と商業活動に新しい力を結び付け循環を促すこと。そして、微生物のチカラと共に、日本の土地と人々の生活を守ることに。それが今の私に課せられている使命だと信じ、日々精進しています。

ゆめ ほ
出口 夢歩さん
下竹田
(しし座)

清と真
(成人式にて)

えつ し
久保田悦誌さん
下竹田
(さそり座)

**勉強
がんばってます！**



**ワン・オク
最高です**



現在大学2年生の悦誌さんは親元を離れ東京で暮らしています。山形村に帰ってくる「ホッとする」そうです。

学校では「建築」を専攻。将来は「建築業界に携わりながら、自分のやりたいことをやっていきたい」とデザイナーを目指しています。

今一番熱中しているのは、「ONE OK ROCK」。中学2年生の時に出会ってからは、容姿、パフォーマンス、人柄、すべてに夢中でライブにアルバイト代を全部注ぎ込み、休日もライブ映像を見てリフレッシュしています。

いつの日からか「将来は看護師になりたい」と考えるようになった夢歩さん。

今は東京の大学で日々勉強中。一番熱中していることも「勉強」だと言います。

「楽しいこともたくさんあるけどやっぱり一人暮らしは寂しい」と話してくれた夢歩さんは、離れてみてからあらためて「水も空気も星も綺麗な山形村がやっぱり大好き」と感じたそうです。

いつも笑顔で、自分の性格は「元気」だという夢歩さんは、患者さんに信頼される看護師を目指して頑張っています。